

夜空に浮かぶ諏訪の遺産

# 夜歩く魅力の諏訪 ライトアップ

令和5年

12/8(金) 9(土) 10(日)

17:00~21:00

煌めく諏訪の建造物

「片倉館」



★ 2月開催 ★ 諏訪市文化センターライトアップ 令和6年2月3日(土) (予定)

写真はイメージです

## 国指定重要文化財 片倉館

片倉館は、大正から昭和の初期に日本における輸出総額の約4割が絹製品であった当時、シルクエンペラーと称された片倉財閥により地域住民に厚生と社交の場を供するため1928(S3)年に竣工され、それを運営する(財)片倉館が1929(S4)年に設立されました。



諏訪市湖岸通り4-1-9



### 【設立の背景】

当時の片倉財閥当主、二代兼太郎(かねたろう)社長は1922年~1923年(大正11年~12年)にかけて北中南米~欧州へ全行程約8万kmに及び視察旅行を行い、その際ヨーロッパ各国の農村には充実した厚生施設が整っている事に強い感銘を覚えました。

我が国にもぜひそのような地域住民のための施設を提供したいと一族に計り、上諏訪に住民のための温泉、社交、娯楽、文化向上を目的とした片倉館が誕生しました。

特に当時のチェコスロバキア・カルルスバードに在った厚生施設に特に強い関心を覚えたようで自身の日記にも訪問体験を詳しく記し片倉館建設にもそのアイデアが多く採り入れられています。

### 【建物につきまして】

建物の設計は1897年(明治30年)東京帝国大学(現東京大学)造家学科を卒業、更に5年間同大学院で学んだ森山松之助氏(1869~1949)によるものです。

### 【特徴】

当館は定型的な形式にはあてはめ難い個性的な建物で、強いて言えば1900年前後から30年代にかけて、アメリカ等で発展したゴシックリバイバルまたはロマンティックリバイバルに属すると考えられますが、細部に於いては窓、切妻、レリーフ、ステンドグラス等各時代、各国の様式が巧みに採り入れられ、しかもアンバランスを生じない非凡な設計が施されています。

エアール す わ は な び  
AR 諏訪花火

AR花火で写真を撮りながら、  
諏訪市の見どころ、グルメ、自然を体感しよう!

AR諏訪花火をダウンロードして諏訪市の魅力を満喫しよう! →



写真は  
イメージです

主催：諏訪湖イルミネーション委員会

構成団体：一般社団法人諏訪観光協会・諏訪商工会議所・諏訪湖温泉旅館協同組合・諏訪市